

令和4年度(2022年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)2月]

評価調書作成者[都市計画課長 山内 桂王]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	青井被災市街地復興土地区画整理事業
事業箇所	人吉市上青井町字上青井町の一部及び人吉市下青井町字下青井町の一部
事業担当課(室)	土木部道路都市局都市計画課 (益城復興推進室 内線53559)
事業期間	令和4年度～令和10年度
総事業費	4,600百万円(うち県費 約2,467百万円)
事業内容	施工面積 約5.2ha 土地区画整理事業
事業目的	令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた人吉市青井地区において、「人吉市復興まちづくり計画」に基づき、緊急輸送道路である都市計画道路(国道445号)や避難路となる区画道路、一時避難場所となる公園を整備することにより、防災機能の向上と併せて宅地の利用増進を図ることで被災市街地の復興まちづくりを実現させる。

【状況写真】

 写真 被災直後の状況	 写真 区域内狭あい道路の状況	本地区では、東西方向に国道445号が通り、それに接続して地区北側から市道青井城本線(現況幅員W=9m)が直交している。その他の道路は幅員4m未満の狭あい道路や行き止まり道路で、道路密度も低いことから、旗竿地状の宅地や未接道の宅地も見られる。また、公園等も不足している。
 写真 区域内狭あい道路の状況	 写真 区域内狭あい道路の状況	

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	1.47
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	事業を実施する場合、狭あい道路や行き止まり道路が無くなるため、緊急車両の通行が容易となり、さらに一時避難場所となる公園及び広場の整備もあることから防災機能が向上するとともに、人吉市の目指す「青井地区復興まちづくり計画」の実現につながる。また、宅地が整形化され、前面道路の幅員が拡がることにより、土地の利活用が増進する。
パートナーシップ ユニバーサルデザイン への配慮事項・内容	「まちづくり」を担う人吉市と連携することにより、住民との協同によるまちづくりが可能となる。 また、「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地元の意見を道路設計に反映させ、すべての人が利用しやすい道路の整備を目指す。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の都市計画決定（人吉市） （令和4年3月25日） ・設計の概要についての国土交通大臣認可 （令和5年2月7日） ・事業計画決定（令和5年2月21日） ・環境配慮システムに基づく環境への配慮が必要

【 周辺状況 】

関連事業	【県施行】 国道445号（下青井工区）社会資本整備総合交付金事業
市町村、地元の状況	人吉市及び人吉市議会から、熊本県に対して土地区画整理事業及び国道445号改良整備の県施行に係る要望書が提出されるなど、令和2年7月豪雨からの復興事業のひとつとして地元から早期整備を強く要望されている。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・用地先行買収に関する説明会を開催（令和4年5月21日） ・事業計画案に関する説明会を開催（令和4年11月18日） ・事業認可後の手続き等に関する説明会を開催 （令和5年2月22日）

【 環境影響 】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	有 (配慮する)
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	有 (配慮する)
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	有 (配慮する)
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	③ まちづくりの支援	10	8
	小計	20	13
必要性	④ 特定地域振興	5	3
	⑤ 住環境の整備・改善	10	10
	⑥ 公共交通利便性	10	10
	小計	25	23
緊急性	⑦ 交通円滑化の確保	10	8
	⑧ 都市防災機能	10	10
	⑨ 他事業との連携	5	5
	小計	25	23
効率性	⑩ 費用便益比(B/C)	20	12
	⑪ 資金計画妥当性	10	10
	小計	30	22
合計		100	81